

かけ算のきまりを見つけて

名前

教科書P11~13を見て
考えよう。

め・・九九の表からかけ算のきまりをみつけよう。

① 右の表に答えを書き

書き、九九の表を

かんせいしよう。

② アとイにあてはまる言ばを
入れよう。

ひろとさんの発見

イ (かける数)

ア (かけられる数)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1									
2									
3									
4									
5									
6							42		
7						42			
8									
9									

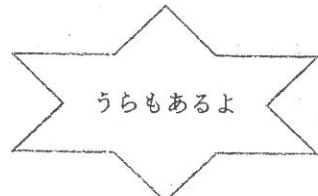
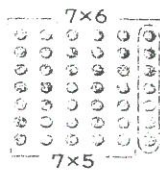
③ ひろとさんが見つけた、かけ算のきまりをかくにんしよう。ウ~カにあてはまる言ばや数を入れよう。

- かけられる数が7で、かける数が5のとき、答えは $7 \times 5 = 35$ 。
- かけられる数が7で、かける数が6のとき、答えは $7 \times 6 = 42$ 。
- 答えは、(7) ふえている。

このことから、かけられる数が同じとき、かける数が (1) ふえると

答えは (かけられる数) と同じ数だけふえる。

• しきにあらわすと・・・ $7 \times 6 = 7 \times 5 +$ 7



④ ゆいさんが見つけた、かけ算のきまりをかくにんし、() にことばや数を入れよう。

ゆいさんの発見

- かけられる数が7で、かける数が7のとき、答えは (49)
- かけられる数が7で、かける数が6のとき、答えは (42)
- 答えは (7) へっている。

• このことから、かけられる数が同じとき、かける数が1つ (へると)、

答えは、(かけられる数) と同じ数だけへる。

• しきにあらわすと・・・ $7 \times 6 = 7 \times 7 -$ 7

声に出して読んでみよう。

=は、等号といひます。等号は計算の答えを書くときだけではなく、左がわと右がわの式や数の大きさが等しいことを表すときにも使ひます。

⑤ まとめ かけ算のきまり①

かけ算では、かける数が1ふえると、答えは、かけられる数だけふえます。また、かける数が1へると、答えは、かけられる数だけへります。

たしかめたいな

次の□にあてはまる数を書きましよう。

- ① 4×6 は、 4×5 より 4 大きい。
- ② 5×8 は、 5×9 より 5 小さい。
- ③ $7 \times 7 = 7 \times$ 6 $+ 7$ ④ $3 \times$ 6 $= 3 \times 7 - 3$